

吾々の考古学 目次

南九州における縄文時代草創期の同一遺跡出土資料の時期差	村 上 昇	1
鵜山遺跡における縄文時代早期石器群の様相 —特に剥離方法の評価について—	上 峯 篤 史	15
いわゆる「特殊凸帯文土器」についての覚書 縄文時代前期末、「器形」「法量」と「器面調整」と…	鈴 木 康 二	35
縄文中期における船元式の九州南部への波及	矢 野 健 一	49
山陰の漆塗り土器	中 川 寧	67
四国島東部地域における片岩製石器生産の展開	中 村 豊	77
弥生時代終末期における丸底土器の成立とその歴史的意義	長 友 朋 子	95
前方後方形周溝墓から大型古墳への系譜 —高槻東山1号墳の発見を契機としての予察—	三 好 博 喜	125
庄内形甕の地域性 —播磨地域の検討から—	田 中 元 浩	135
葺石の成立・展開と地域間交流	廣 瀬 覚	153
伊勢北部における埴輪の受容と展開	豊 田 祥 三	173
稻荷山命婦谷遺跡出土の埴輪棺	宇 野 隆 志	181
滑石製腕輪形石製品からみた地域間流通	大 岡 由記子	195
ウワナベ古墳系列の埴輪をめぐる諸問題 —上人ヶ平5号墳出土埴輪の検討から—	田 中 智 子	211
越前笏谷石石棺の埋葬形態復元	田 邊 朋 宏	227
鉄製武器にみる革盾意匠とその性格 —盾中央鉄板を中心にして—	仁 木 聡	243
伝・茨城県舟塚古墳出土鹿角製刀子把の直弧文	井 上 一 樹	261
京都府宇治市街遺跡出土品からみた須恵器生産の開始	河 承 哲	277

古墳時代の須恵器生産組織について	山本雅和	299
古墳時代中・後期における土師器坏の変遷と地域性 —奈良盆地の事例について—	中野咲	321
三河の横穴式石室 —三河型横穴式石室の生成と伝播を中心に—	岩原剛	337
低い石棚の考察（続論）	中村修	361
須恵器坏類の製作実験ノート2 —ヘラ起こし技法による丸底化と「正円の沈線」をめぐって—	木立雅朗	377
東北地方の古代の土鍋に関する基礎的研究 —6・7世紀の福島県中通り地域を中心として—	北野博司	397
北河内における初期寺院と馬飼集落	奥村茂輝	417
把手つけたはなし —使用痕跡からみた7世紀後半、飛鳥・藤原の煮炊具—	加藤雅士	437
土馬に関する二、三の考察 —野洲川下流北岸の様相—	角建一	453
国府政庁の成立年代	贄元洋	469
考古学と時間	山口均	487
静岡県における山茶碗の托付器種について —藤枝市仮宿堤ノ坪遺跡出土資料からの一考察—	岩木智絵	495
東播磨地域における中世前期の土器様相 —居館出土土器の組成とパターン分析—	中川渉	511
富山県経典関係考古資料	橋本正春	519
越前焼の編年的研究ノート	木村孝一郎	535
韓半島北部の新石器時代から青銅器時代への移行期における石器変化	李基星	551
韓半島南部の赤色磨研土器 —中頸壺と台付壺（鉢）を中心に—	千羨幸	565
武珍古城出土文字瓦の再検討	吉井秀夫	583
黄泉国と横穴式石室	和田晴吾	601